

【状況】

話し手は北海道出身の競技選手。

オフの日に、複合商業施設の人気の少ないカフェースで時間を過ごしていた。

するとその姿をファンに発見され、サインをねだられる。

【ガイド】

黒字:台詞

赤字:注釈、演技指示

青字:ファン(男女不問)の反応

緑字:その他状況補足

紫字:北海道弁

【本文】

こんにちは～。

はい、こんにちは……。
(不意に声を掛けられたのであまりハッキリせず、不思議そうに)

あの、△△の○○選手ですよね？

あっ、えっと、はい。私がそうですけど……。

やっぱり！自分、ファンなんです！

ええっ！？ファン！？私のですか！？

……
(突然のことに驚き、言葉にならない言葉でどもる)

あ、ありがとうございます！いつも応援していただいて……！

良かったら、サインいただけませんか？

(色紙とペンを差し出す)

サ、サインですかっ。ええ、もちろんいいですよ。喜んで。
(緊張気味)

……ちゃんと書けるかな(呟くように)……あ、ペンお借りしますね。ありがとうございます。

(アクセント:ちゃ↑ん↓と↓)

……ああ、よかつたら、イス座ってください。
(アクセント:イ↑ス↓)

慣れてないもので、ちょっと時間掛かるかもしれないで……あっ！

(ペンの蓋を外した際のはずみでペン先が色紙に触れ、線が引かれてしまう)

すすすすみません！変な線書かさっちゃいました！

(アクセント：“被さつちゃいました”と同じ) (意味：意図せず書いてしまった)

もっと大事にしないと駄目ですよね……本当にごめんなさい……。

気にしないでください。代えの色紙もあるので。

(新しい色紙を手渡される)

あっ、新しい色紙^{しきし}いただけるんですか……？お手間をお掛けして申し訳ありません……。

こ、今度こそ大丈夫です。慎重に書きます。では……

…………… (集中してサインを書いているときの息づかい。少し声が出てもOK)

……できました！これで、いかがでしょうか。お納めください。

おお！ありがとうございます！大切にします！

ふふ。喜んでいただけたなら、よかったです。

でも……私の不注意で、色紙を1枚無駄にしてしまって……本当にごめんなさい。

いいですよ。全然。

探せば売ってるかもしれないので、弁償を——

いやいやいや！それには及ばないです！気にしないでくださいって！

(割り込まれて少し気圧され気味に) うあ、そ、そうですか……。

ううん……。他に^{なに}何か、私にできることがあればいいんですけど……。

じゃあ、一緒に写真撮ってくれませんか？

あ、写真ですか？いいですよ！是非ご一緒させてください！

やった！ありがとうございます！

ああえっと、どなたかに声掛けて撮っていただきますか？それとも——

自分が手伸ばして撮ります！

っと、ご自身でですね。

ちょっとこっちの壁紙バックにして撮りましょう。

あっ、そっちで撮りますか？はい、わかりました。

(少し移動する)

(装飾付の壁の前まで来て、相手はスマホを構えて壁に寄り掛かる)

……ああここの壁は……あまり、**寄り掛からない**ほうがいいかと……。(アクセント:意味：“寄り掛からない”と同じ)
その、装飾が剥がれやすいみたいなので……。

おっと、そうなんですね。気を付けます。

(姿勢を正す)

こ、細かいようすみません。**こないだ**も落ちてるのを見て—— (アクセント:こ↓な↑い↓だ↓)

(相手がシャッターのタイマーを起動する)

わわ！もう撮ります！？

(撮影)

よし、バツチリです！ほら見てください！

あ……はい。ええ、ちゃんと撮れてますね。

(アクセント:ちゃ↓ん↑と、標準語と同じ) (“ちゃんと”を強調したい場合のみアクセントが変わる)

お疲れ様でした。

〇〇選手とツーショット撮れたなんて嬉しいな～！ホントありがとうございます！光栄です！

えへへ……なんもなんも。光栄だなんてそんな。

(はつきり「えへへ」ではなく、照れ笑いっぽく「えひひ」に近い)

(アクセント:な↑ん↓もなん↓も) (意味:全然構いません)

むしろ、まだ全然活躍できていない私を応援してくださっていることが光栄ですよ。

そりやあ、同じどさんことして応援しないわけにはいかないですよ。

……え？ **どさんこ**……。(アクセント:ど↓さ↑んこ) (意味:道産子。北海道生まれ北海道育ち。)

ああ！北海道の方でしたか！

□□の××といえば〇〇選手！2年の時からモノが違うって確信できましたからね。

プロでも絶対通用するって信じてます。

こ、高校の頃から見ていてくださったんですね。

嬉しいです。ありがとうございます！

活躍期待してますよ！

ご期待に沿えるよう、頑張ります！

それじゃあ自分はぼちぼち。☆☆にもどさんこファンがいるってことで、覚えてください(笑)
名残り惜しいですがさよなら～。

はい。はい、わかりました。

ではお気を付けて——

(割り込んで)ああそうそう！

えっ？

北海道訛りが懐かしかったです。少し地元を感じることができました(笑)

それでは！(去る)

な、訛り？

……え？ あれ？ 私、そんなに訛ってました……？

あ、行っちゃった……。

ん～～～……。

わからないや……。訛りかあ、今度誰かに聞いてみようかなあ。 (全く自覚がなかったため、不思議そうに)